

【研究各部の方針】

学力づくり部

- 教科の基礎・基本の確かな定着に向けた実践方法を提言する。
- 各教科の活用力向上に関わる授業内容、指導方法の視点を提言する。
- 総合的な学習の時間、選択教科での活用力向上に関わる実践計画を提言する。

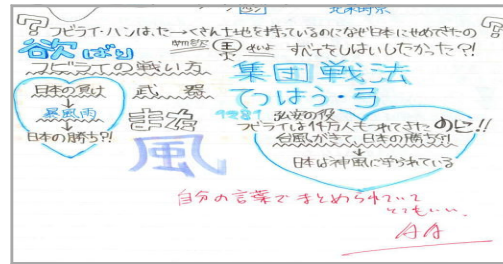
夢づくり部

- 仲間づくりの視点から、構成的グループエンカウンター的手法などを活用した学級活動の進め方を提言する。
- 小学校や家庭、地域と連携して、生活習慣・学習習慣改善のための取り組みを提言する。

【具体的な実践】

① 「学びの基本」の定着

- 学びの基本を再重視
 - ・ノートづくり、発言の仕方、教科書の読みのきめ細かな指導



【ノートへのコメント】

- ・ドリル学習の利点を踏まえた「はまなすテスト」の定期的な実施

実施回数	年6回
実施項目	漢字・計算・英単語

学習期間 毎回1週間

- ・朝読書の継続的な取り組み

1、2年生で実施
一言感想コメントの記載

弊社	拙宅	粗品	謙譲語	伺う	行為	丁寧	違う

1. 相手が風になれ。	2. 日本の土を聞け。	3. 飛躍飛躍の割合になる。	4. いかにけんた相物。	5. 更に傾きかた。	6. 手を振り合わせ。
7. 飛躍飛躍の割合になる。	8. いかにけんた相物。	9. 更に傾きかた。	10. 手を振り合わせ。	11. 飛躍飛躍の割合になる。	12. いかにけんた相物。
13. 更に傾きかた。	14. 手を振り合わせ。	15. 飛躍飛躍の割合になる。	16. いかにけんた相物。	17. 更に傾きかた。	18. 手を振り合わせ。

【はまなすプリント】 【はまなすテスト】

- 学習規律の習慣化

- ・生徒の自主的・自治的活動を主体にした「学習ルール」定着に向けた取り組み

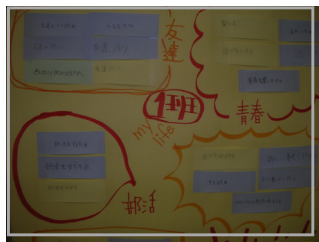


「富来中をもっと良くするために！ 学習をテーマに考えよう」のねらいのもと実施した3年生学年討議の様子

② 「活用力を支える力」の育成に向けて

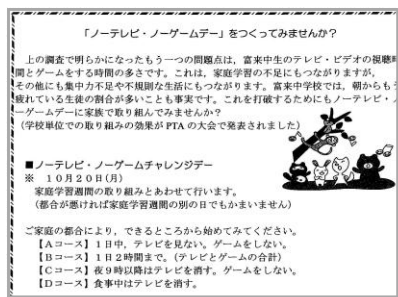
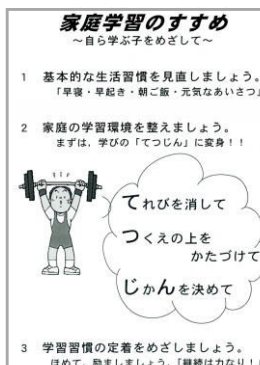
I 仲間づくり

- 望ましい人間関係、学習集団の育成
 - ・構成的グループエンカウンターの手法を活用した学級活動
 - ・学校行事後のわち合い活動



II 生活習慣の改善

- 保護者と連携した取り組み
 - ・「ノーテレビデー」、「ノーゲームデー」の実施
 - ・家庭での学習や生活習慣・生活リズムに関するアンケートを実施



III 体験的活動の充実

- 体験学習（活動）の要素を取り入れた授業の計画と実践
 - ・各教科の年間指導計画を見直し、体験的な学習を実施できる単元の明確化

③ 「活用力を向上させる力」の育成に向けて

I 基礎的・基本的な知識、技能の定着

- 既習事項の定着
 - ・授業で本時の学習に関連する既習事項を確認プリント、ワークシート等を利用して確認

Key Sentences	
No.	Sentence
24	This is the letter ^{written} in English.
11	これは英語で書かれた手紙です。
11	The cake made by Yuk was delicious.
11	ゆきによって作られたケーキはおいしかったです。

【英語の既習事項確認】

II 思考力、判断力を伸ばす授業展開

- 問題解決学習をめざす授業展開
- 「教科別指導の重点」で各教科で育む思考力、判断力、表現力を明示



教科	重点
国語	読者の知識と新しい社会的課題を比較・検討する機会を設けて、思考力を高める。
理科	グループ学習を通じて友達との意見と自分の意見の共通点と相違点を明確にさせるように指導する。
数学	考えを整理する過程で自分の意見の構築となるものを積極的に発表できるように指導する。

【学習の流れの掲示】

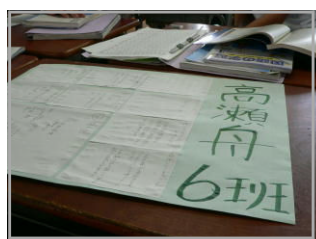
【教科別指導の重点】

III 表現力の育成

- 言語活動の重視
 - ・各教科の授業の中で「話す」、「聞く」、「書く」の3つの活動を意図的に取り入れた活動の実践（ペア学習、グループ学習）



【数学科でのペア学習】



【国語科でのグループ学習】

【研究の全体構想】

学校教育目標

知・徳・体の調和がとれ、心豊かで自主・創造の精神にみちた生徒の育成をめざす

めざす生徒像

教育の今日的課題

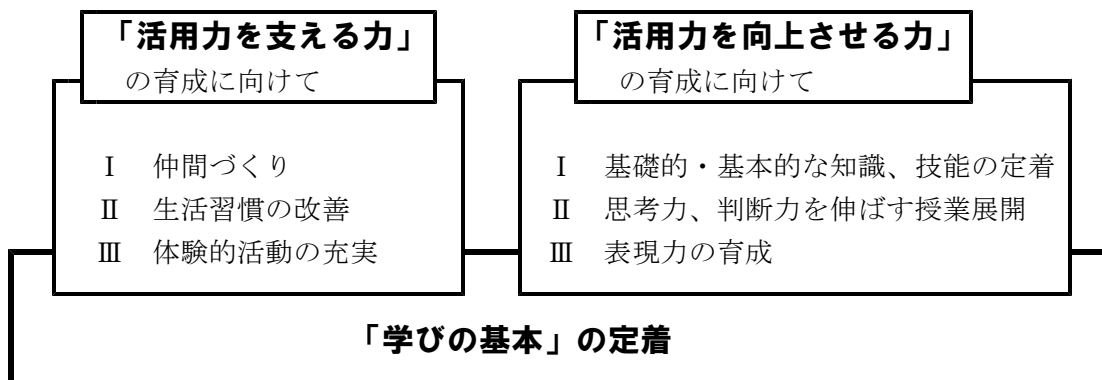
研究主題

確かな学力を身に付け、自らの学びを広げる生徒の育成

—確かな学力の定着を図る指導法の工夫—

研究仮説

生き生きとした魅力ある授業を実践することにより、「確かな学力」を形成する「教科の基礎・基本」の確実な定着を図ることができ、自ら学ぶことを楽しむ生徒の育成につながるであろう。



研究の基本方針（スタンス）

- ① 「学びの基本」をベースとして、「活用力を支える力」、「活用力を向上させる力」の育成をめざす。
- ② 授業研究会に共通した視点を持って臨み、積極的な意見交換と授業改善を図る。
- ③ P D C Aの研究サイクルを重視する。
- ④ 定量化されたデータの分析に基づいた検証を確実にを行い、研究の軌道修正や各自の指導法の改善に速やかに着手する。